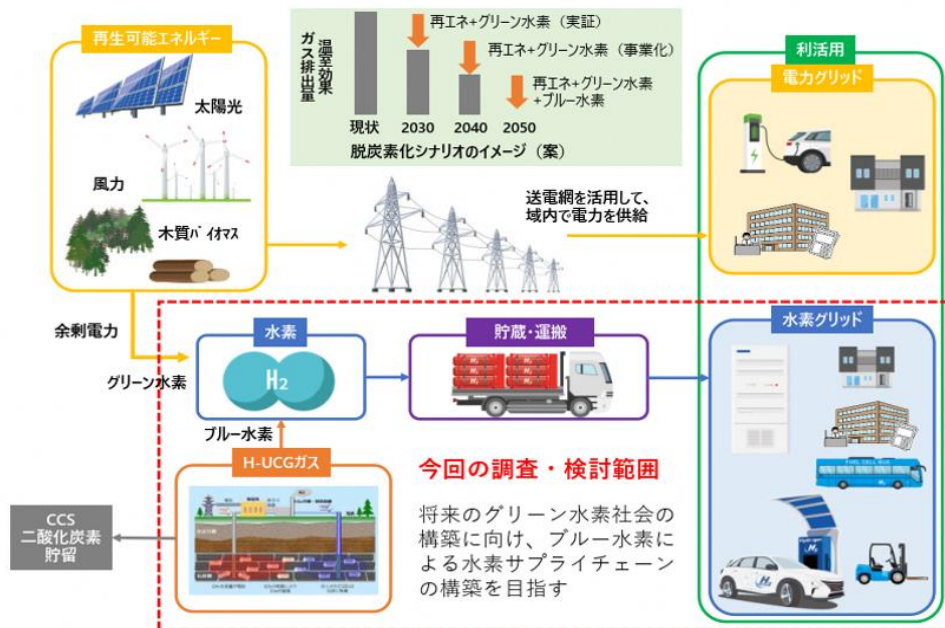


地方公共団体名	北海道三笠市
所属部局 担当者名	産業政策推進部 産業開発課 担当：課長 音羽 英明
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>庁舎内などで木質バイオマスの活用を進めている一方で、降雪量が多く太陽光発電の管理が難しいという課題などを抱えている。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>6万人を超えた人口は8千人にまで減少した。新たな産業と雇用を創出することで定住人口の増加など地域振興を図りたい。</p>
事業の目的	木質バイオマスなどの地域資源を活用したエネルギー事業を展開して産業や雇用の創出を図り、安定的にエネルギーを供給する。
事業の概要	地域資源を活用すると共に、CO ₂ を旧炭鉱採掘跡などの地下に固定することで、CO ₂ 排出量実質ゼロとなる水素製造を行う。
企業に求めたい 内容	水素製造・脱炭素事業の商用化に向けた技術連携・事業参画など。

三笠市の取り組み状況

1. CO₂ 排出量実質ゼロとなる水素製造事業の商用化に向けて、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）から業務委託を受けて、水素の製造・運搬・利用に係るコストなどの調査を進めている。



2. 将来的な水素製造の過程で発生する CO₂ の削減に向けて、地下約 400m の位置にある旧炭鉱採掘跡に CO₂ を圧入する実験に取り組んでいる。



(写真：地下約 400m の採掘跡に向けて掘削)